



ミカエル祭も終わり、静かに闇に向かっていく季節となりました。1, 2年生は11月14日(金)マルティン祭を行いました。夕方再び学校へ集うと、普段通り慣れているはずの校舎がいつもと違って見えたようで、少し緊張した顔がランタンに照らされました。教室で聖マルティンのライゲンをして、丸いパンを二つに分け合せて食べてお祝いしました。

～クラスだより～

* 6年生 奈良歴史旅行 *

10月26日から28日まで、6年生は、奈良に滞在しました。

日本史で古墳時代、飛鳥時代、奈良時代について学び、その歴史の舞台となった場所を訪れ、今に残されているものを自分の目で見て体験するためです。

しかし、奈良旅行は、その3日間だけのことでなく、その前からすでに始まっていたと言っても言い過ぎではないでしょう。

子どもたちは、歴史の話を聞くのが大好きです。今とは異なる生活、歴史上の人物のバイオグラフィー、どんな起こったか、イメージを思い描きながら聞いています。なかには、聞いたことから色々な疑問がわいてきて質問する子もいます。ですから、実際に奈良を訪れ、お寺や仏像、遺跡などを見たり話を聞いたりすることは、子どもたちにはとても嬉しいことのようにです。さらに、旅行前には訪れる遺跡やお寺について調べ学習も行いました。それもまた、旅行への強い動機付けになりました。もちろん、奈良旅行自体がとても楽しみでしたが、特に自分が調べたところへ行くのを、多くの子が心待ちにしているようでした。

さて、奈良旅行では、友達と旅館で過ごすこと、班ごとに買い物に出かけお土産をさがすこと等、修学旅行ならではの楽しみもあります。何日も前から、そのことを思う度にわくわくしている子どもたちの気持ちが私にも伝わってきました。

このように、奈良旅行へのプロローグがあり、26日からの3日間を迎えたのです。

1日目は、京田辺シュタイナー学校の6年生との交流会の後、飛鳥へ行きました。美しい秋の飛鳥を遺跡や石像、お寺へと歩きまわりました。2日目は、奈良の唐招提寺や興福寺、東大寺、3日目は法隆寺を訪ねました。

法隆寺でお世話になったガイドの方が、「楽しかった。みんな反応がいいからね。」と、私に声をかけて下さった、その言葉通り、子どもたちはお話を聞いてはうなづき、時には「ほう。」と驚いたように感心したように声をもらしていました。



旅行後、一番心に残っているのは何かと問われた時、子どもたちからは「千手観音」「行基の像」「東大寺の大仏」という声があがりました。

「歴史って面白い！」

飛鳥を歩いている時に聞こえてきた誰かのつぶやきを思い出しました。

(6年生担任 神田ひとみ)

* 9年生 農業実習報告 *

10月6日(月)~17日(金)、9年生は阿蘇のぼっこわば耕文舎(以下「ぼっこ」)にて農業実習を行いました。ぼっこのスタッフはピリオ・ドニーさんと奥さんの假野祥子(かのよしこ)さん、そして二宮義憲(にのみやよしのり)さん、山岸寿子(やまぎし ひさこ)さんの4人です。台風18号の影響で予定していた飛行機が欠航というハプニングで始まった農業実習でしたが、「ハプニングもみんなが無事なら、笑い話になる」という私の持論通り怪我や病気もなく、よく食べ、よく働き、よく学び、よく笑った2週間でした。

私たちが主に任されたのはサツマイモ畑の芋掘りです。幼稚園の遠足で芋掘りの体験のある生徒は、「掘るばかりになっている状態は、お百姓さんが葉を取り除いてそこまで準備してあったのだということが分かった。」と話していましたが、まさにその下準備の大変さが分かった体験でした。特にバイオダイナミック(BD)農法の畑は雑草も刈らないので、背丈よりも高い雑草とその足元に芋蔓が絡まりあっていて、まずそれを鎌で切りながら畝が見えるようにしていくことから始めました。その後サツマイモは丁寧に優しく手で掘り出し土の上で乾かします。午前中にそれをやり、午後に乾いたサツマイモの土を払ってコンテナに並べ重ねてトラックに積むところで仕事が終わります。畝は80mくらいのもので18本ほどあり、3~4本の畝が終わったら次の畝の草刈りという順序で進みました。



ぼっこの皆さんは、生徒たちはいろいろな仕事を体験したいだろうからサツマイモ畑だけで嫌になっていないだろうかと心配してくれましたが、彼らは「サツマイモ畑を全部終えて帰りたい」と希望し、最終日までサツマイモ畑をきれいにしました。

サツマイモ畑での作業の合間には、大根の間引きや苗を育てるためのプランター作り、レタスの定植等もしました。また、台風18号が去った後、すぐにやってきた台風19号に備えてビニールハウス(長さ数十メートル)のビニールを外したり、ビニールハウス全体に巨大な網をかぶせて固定する作業もしました。幸い台風は熊本まで北上せず鹿兒島で東向きを変えて日本を縦断していきましたが、気候や天気之恩恵にあずかりながらも、それによる被害もある農業の大変さの

一端を見せて頂きました。

今回の農業実習で私が一番印象深く思ったのは「農業は一つ一つの作業を非常にきれいに仕上げて行くものなのだ」ということです。ドニーさんや二宮さん、山岸さんが手を加えた後の畑は美しいのです。BD農業は地球と宇宙と人間の共同芸術なのだと思います。

午後はドニーさんと祥子さんによる1時間半の農業講座です。宇宙の力などについて生徒たちから次々に質問が出て、彼らの質問に答えるうちにドニーさんはシュタイナーの宇宙観や地球観をどんどん話して下さいました。シュタイナーの思想を生徒に教えたことはなかったので彼らがどう感じるか少し心配しましたが、生徒たちは「分かったとは言えないけど面白い!」と言っていました。彼らの旺盛な知識欲と柔軟な思考力をとても頼もしく思いました。太陽や惑星の力を利用するBD農法が今後科学的にも検証され、世界の農業を変えて行ってくれたらいいと強く思います。



生徒たちは誰もが、「もっとここにいたい。」「来年の夏も手伝いに来たい。」と名残惜しんでぼっこの皆さんに別れを告げました。2週間の間、皆の健康管理に気を配って下さり、毎日「美味しい!」と感動する食事を作ってくださった祥子さんに心から感謝いたします。また、彼らの熱意を「スバラシイヨ!」と喜んでくださったドニーさん、ウィットにとんだジョークで笑わせてくれながら仕事をご指導くださった二宮さん、卒業プロジェクトで社会派なテーマを選んだ子たちに沢山のアドバイスをくださった山岸さん、どうもありがとうございました。皆様のお陰で私たちは素晴らしい体験と思い出を得ることができました。

農業実習の報告会を終え再び日常に戻った私たちですが、一人一人の心の距離がぐぐっと近づいたように思います。男子も女子も大人への階段を半歩登ったように輝いています。そして私は半歩後ろから彼らを眩しく見上げています。1年生から見て来た彼らが、そろそろ私の手元を巣立つ時期だということでしょう。素敵な若者たちになりました。

シュタイナー学校の担任は普通8年生までですが、横浜は9年生まで受け持ちます。9年生の授業を準備するのはとても大変です。でも9年生が魅力的に変身するのを見た一期生担任の長井と二期生担任の私は、「9年生まで見るって・・・いいねえ。」と深く頷きあっているこの頃です。(9年生担任 神田昌実)

ミカエル祭 (10月31日)

心が揺らいだり、迷ったりするとき、人々の心に正しい道を促してくれる存在であるという、ミカエル。10月はそのミカエルの存在をあらためて意識する季節として、1ヶ月の間、学園の子どもたちはさまざまな時にさまざまな形で語られるミカエルに出会っていきます。1年生の子どもたちはもちろん、保護者である私達の多くにとっても、それは初めて知る存在でした。

そして10月最後の金曜日、ミカエルの月の終わりを祝う「ミカエル祭」の集まりを保護者として参観しました。

低学年はミカエルにちなんだライゲンやオイリュトミー。子どもたちが身体をいっぱい動かしてミカエルのことばを吸収しているのがわかります。高学年で行われた詩の朗唱ではもう「ミカエル」という言葉はありませんが、その精神に存在が生きているのが伝わってきます。最後は全員でミカエルの歌のコーラス。高学年ともなると声域もぐんと拡がり、小さな子たちのあどけない声にたたみかけるようにメロディーが重なり、部屋いっぱいに広がってゆきました。小さな子たちは、自分たちの歌が思わず広がってゆくのが不思議そうに、あたりを見回したり。全学年が一堂に集い、終始熱気に包まれた「ミカエル祭」でした。

折りしもミカエル祭の翌日に保護者会を迎えたこともあり、この1ヶ月の子どもたちの様子をクラスで共有する中で、ミカエルの存在がいろいろな形で子どもたちの心に浸透していった様子が更に伝わりました。家でオイリュトミーを繰り広げる子、ミカエルは翼とマント両方あって、いったいどちらで空を飛ぶのかなあ、などと悩む子もいたそうです。確かに。そして、この10月が終わったらミカエルはいなくなってしまうの、と訪ねる子も一人ではなかったようです。

大丈夫、ミカエルはいつでもそばにいます。子どもたちはもちろん、きっと大人である私達のそばにも。子どもたちの生活を通して、自分の中にもあらためて静かに力が湧いてくるような気がする、そんなミカエルの祭りの終わりでした。

(1年生保護者 石倉義子)

6年生音楽劇 モーツァルトの「魔笛」

10月17日(金)に6年生神田(ひ)クラスの音楽授業の発表会「魔笛」が行われましたので、観てきました。

発表会ではまず最初に、クラス全員で魔笛の中の1曲を丁寧に歌ってくれました。

次にモーツァルトに関するクイズを生徒一人ずつが出題し、観覧者は○×の札を示して答えるという、モーツァルトの豆知識が習得できる楽しくてタメになる企画でした。

ただ1ヶ月ほど過ぎた今、記憶に残っているのは、①モーツァルトはオーストラリアではなくオーストリアで産まれた。②モーツァルトは日本に来たことがない。の2つだけで、問題を考えてくれた生徒には申し訳ないけど、どうでもいい事しか覚えていません。クラスのみなさん、せっかくいろいろな問題を考えてくれたのにゴメンなさい。

クイズが終わった後は、いよいよ4場面からなる音楽劇の始まりです。最初は王子のタミーノとパパゲーノが出会う場面でした。2人とも一番最初で緊張したと思うのですが、しっかりと演じてくれました。

次はタミーノとパパゲーノが魔法の笛と鈴をもらう場面、その次はタミーノとパパゲーノと僧侶が会話をする場面でした。どちらの場面もみんな堂々と演じており、すごく立派に見えました。

そして最後の場面になり、パパゲーノと茶色の布で全体を隠した老婆(=息子)が出てきました。息子は女性っぽい声を出して色々セリフを言っています。パパゲーノから「歳はいくつ?」と聞かれて「18歳」と答えましたが、このセリフはスベリました。でも2人の会話は続き、最後の最後で老婆が布を取ると、かわいいのか、かわくないのかよく分からない化粧をした息子が「私の名前はパパゲーノ」と言い、観覧者から笑いを取って音楽劇は終わりました。(伏見先生、おいしい役を息子にやらせていただいて、ありがとうございました。)

発表会の一番最後は、リコーダーとヴァイオリンとチェロに分かれてクラス全員での演奏でした。聞いているとリコーダーパートは難しそうでしたが、良く吹けていたと思います。

今回は歌に劇に演奏にと盛りだくさんで、クラス全員が一生懸命取り組んだ成果を見ることができて大変満足したひと時でした。このような機会を作っていただいた伏見先生、神田(ひ)先生、どうもありがとうございました。

(6年生保護者 藤岡義史)



新訂「野ばら」19号 大好評発売中です！

10月20日に『野ばら』19号発行しました！みなさまお読みいただけましたでしょうか？

19号から豪華カラー刷りになり、学園の美しい授業実践がますます色濃く、分かりやすくなっております。

1年1回の発行、1冊600円になりました。現在「割引キャンペーン第2弾」も絶賛実施中です。

ご親戚、お知り合いの方、シュタイナー教育にご興味のある方にご紹介ください。

特集「手から育つもの」

気象学の授業（一）

コリオリにとりつかれて

『キリスト』とミカエル祭

「建築講座」年間テーマ～色 ～第3回「色と空間」

日にち：1月23日（金）

時間：10：00～12：00

場所：霧が丘校舎

参加費：1,500円

ご寄付ありがとうございます

（順不同・敬称略）

9/2～10/31

「南国の夕べ」参加者有志、保育グループ有志、金色の麦（盆踊り大会）、星の金貨、加藤洋子、カーフリーデー有志、秦好子（防災講座講師）

〈よこはま夢ファンドを通してのご寄付〉

福地耕治、関口範子、信太由雄、高田信利、川島邦夫

☆皆様からのご寄付は大切にさせていただきます。ありがとうございました。

インフォメーション

アドヴェントの集い

日にち：11月30日（日）

時間：10：00～14：30

場所：霧が丘校舎

クリスマスのお話、生徒による小さな演奏会、ライアーコンサート、軽食&スイーツ販売、親子で楽しめるクリスマスワーク、手作り品販売、教育パネル展示ほか

*十日市場校舎にて学園見学会を開催

*内容等はホームページをご確認下さい

2015年度入学説明会（2次）

[A]12月6日（土）10:00～12:00

霧が丘校舎

[B]12月13日（土）10:00～12:30

十日市場校舎

募集学年：新1、2、4、7年

対象：入学を希望される保護者

参加費：無料（願書1,000円）

※できるだけご両親で参加されることをお勧めします。

内容：[A]「シュタイナー教育とは」
「教育内容について」

[B]「保護者の学園への関わりについて」

※2015年度に入学をご希望の方は、**A、Bの順に両方の回に必ずご出席ください。**

両方の回に出席済の方に願書(1,000円)を配付します。

申込み：参加を希望される方は、お名前、連絡先、参加希望日をお書きの上、お申し込みください。

*お車でのご来校はご遠慮ください。

*いずれも大人を対象とした内容となります。お子さまはお連れにならないようお願いいたします。

「2学期月例祭」公開します

日にち：12月20日（土）

時間：11：00～13：00

場所：青葉公会堂

参加費：無料（要予約）

*参観は大人対象となります。

お子さんの参加はご遠慮ください。

（小学生転入希望の方につきましては参観可能な場合があります。事前に学園にお問い合わせください）

茶話会／校内見学会

学園の雰囲気を感じていただけるこの機会に、どうぞお訪ねください。

茶話会（水曜日）

日にち：1月21日・2月18日

時間：10：00～12：00

校内見学会（金曜日）

日にち：1月25日・2月20日

時間：15:00～16:00

参加費：無料

場所：霧が丘校舎

学園にご興味・ご関心のある方はどなたでもお越しください。お子様連れも可です。

※お子様の上履きはご持参ください



星の金貨

スクールショップ「星の金貨」は、この時期クリスマスプレゼントにふさわしい品をそろえておまちしております。

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

星の金貨ブログ

<http://hosinokinka.blog100.fc2.com/>

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.com

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替：00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店（せにわり店）当座0130702

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第76号

2014年11月20日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人 横浜シュタイナー学園

<http://yokohama-steiner.com>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転